

「de mano(じまあの)」は、牛豚肉を加工する「まあの」が発行するミニコミです。生産地の様子や生産者の声、「まあの」からのお知らせや小村の個人的な関心事などを掲載しています。

「mano」はエスペラント語で「手」の意味です。生産と消費が「手」つなぐ肉流通を作り、「手」作業主体の職人の技術で肉を加工するという意を込めています。

まあの から
de mano
エスペラント語で「mano」は「手」、
「de」は「～から」という前置詞です。

発行:まあの 【火曜定休】

兵庫県尼崎市戸ノ内町5丁目8-6

☎ 06-6495-2546

☎ 06-6495-2900

✉ mano0298@snow.plala.or.jp

HP <https://www.e-sora.net/mano/>

肉屋・まあのの閉じ方

先月号の追加と補足

遅かれ早かれまあのは閉じるわけですが、アルプス牛も同時に終了するつもりでした。福沢さんは間もなく辞められるし、青木さんは和牛の一貫経営を目指すと聞いていました。

しかし、大鹿ツアーのBAUでのランチミーティングで参加者にこのような説明をすると「何とか後継者を探してアルプス牛を続けられないか」「事業承継は役所の仕事で、まあののような個別の事例に対応できないだろう。事情をよく知る私たちの間で募集した方が有効ではないか？」との提案もあり、そこまで親身になって考えてくれているのか、と感動しました。

さらに「de mano」を読んで、あしの会の奥谷さんがまあのまで来られて話し合いを持ち「まあのの後継者探して、私に何かできることはないか」と問われます。そして私の話を引き取り、「①牛のさばき加工 ②製品の冷凍保管 ③販売に分けてみると、②③ではお手伝いできるかもしれない。牛さばきは専門家で信頼できる業者を探さないといけない」と整理してくださいました。

“生産と消費をつなぐまあの”を標榜しながら、考えが独りよがりになっていたようです。そこで私としてもいろいろ今までのつながりから、全面承継や①から③の部分承継など検討し直しています。さばき加工に限れば委託加工できるところのめどがつかまりました。何とか今年中に全体としての方向性を示せば…と考えています。

にんじんくらぶ まあの見学 10月11日

7月にゆうき倶楽部が見学に来られた記事を読んで、にんじんくらぶの徳本さんも見学の希望を伝えてこられ、来ていただくことになりました。徳本さ

んご夫妻とお店の岸江さんの3人です。

前日に入荷した豚2頭のパーツをテーブルに並べ、さばいていきます。一人で黙々とやっている時は2時間足らずで済みますが、いろいろお話しして

いるとそっちに気を取られ、包丁がなかなか進みません。でも豚パーツという現物を間近で見てもらい、2頭で100kgの存在感も伝わり、十分意味はあったと思います。お客さんにもこのリアリティをお伝えください。



まだまだ暑い夏が続いています！

希望農場・9月農場たより 清野 光弘

今年は、これまでにない暑い夏になりました。毎日25℃を超えるのが当たり前になり、夜も20℃を下回ることがありません。ここ2、3年暑い夏でしたが、それを超えるものになりました。北海道の夏

の平均気温が5℃近くも高くなり、一般の家庭でエアコンが設置されているのがこれまで30%台だったものが、一気に設置台数が増えました。それほど暑い夏です。さらに湿度が高く、これまで北海道の夏はカラッとして過ごしやすかったのですが変わってしまいました。今後どうなっていくのでしょうか。

全国各地で、大雨の被害が出ています。北海道の北の稚内と南の函館も8月に大雨が降り、洪水になりました。全国的に気候が変わってしまったように感じます。

また、9月6日がやってきました。大震災から7年が経ちました。コープ自然派の皆様には、大変ありがたい志をいただきました。改めてお礼を申し上げます。爪痕が残っていた場所も、厚真町や北海道のおかげで草木が覆い始めて、その名残が少しずつなくなってきました。しかし今年も、町内でお亡くなりになられた方のご冥福を町民一同で祈りました。

放牧豚たちもこの暑さには、参ってしまっています。日中の暑いときには、筒抜けのテントで日差しを避けて昼寝をしています。また、水を飲む量もいつもより増えてしまっています。たまに降る雨がお気に入りです。シャワー代わりに使ったり、水たまりができるからです。水たまりに入り、身体中に泥をつけて体温を下げています。皮膚呼吸ができないため、こうするしかありません。

皆様はいかがお過ごしでしょうか。身体には十分お気をつけてください。やはり、健康が一番です。

私たちも身体に気をつけて皆様に美味しいお肉をお届けできるように頑張ります。

山の記録

笛石山(兵庫県宍粟市)9月24日

久しぶりに宍粟 50 名山の一つに登ります。中国道山崎 IC から 1 時間足らず、松ノ木橋駐車場に着きました。ちょうど行者霊水が湧いており、車も 10 台以上停められて、トイレも完備。ありがたいことです。しばらく川沿いの舗装路を歩きます。上から下りてきた釣り人に「笛石山登山口はもっと先ですかね?」「さあー、私は釣りだけだもんで…」失礼しました。先に進むとヤマレコが「道を間違えたようです」と警告します。あれっ、少し戻ってみると人し

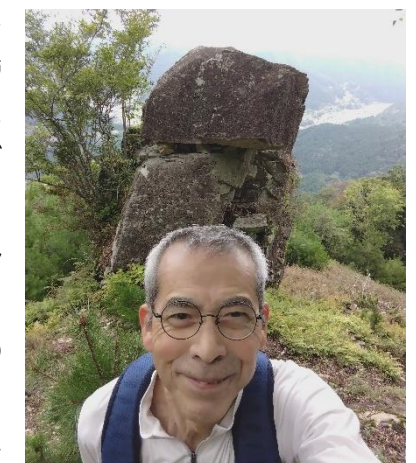
か渡れない小さな橋の先に「笛石山登山口」の標識がありました。

宍粟の山らしく、杉林の中をジグザグに登っていきます。道はよく踏まれていて歩きやすい。やっと自然林に入り、明るくなり眺望も出てきます。

猫石との分岐でとりあえず頂上へ。すぐ山頂ですが、頂上感はありません。後山への縦走路の途中になります。さすがに吹き渡る風は涼しく、秋を満喫します。少し下って猫石へ。猫石は見ごたえのある巨石で、切り立った場所にあるので眺望も良好です。ただブログに載っていた写真にある猫らしい耳がどうしてもわかりません。石の周りを回っていろいろな角度で見ましたが、やっぱりわかりません。耳の部分だけ落ちてしまったのかしらん。

下りは駆け足で、一度滑りましたが軍手で何とかとどめて、ズボンなどは汚れずに済みました。

正直、宍粟の山は面白みが少なく最近ご無沙汰でしたが、ここはそれなりに充実していました。何よりコースがしっかりしていて安心して登れます。



ニクヤノツブヤキ

◇ 今は詳しくお伝え出来ませんが、事業承継の候補者が現れました。期待はしていますが、丁寧に、慎重に話を進めたいと思います。(幸治)

◇ 私は今月から協会健保の被扶養者を外れ単独で国保に加入することに。社会保険料の負担が大きすぎると言われていますが、さていくら請求が来るかしら? (幸子)